

アンケートのまとめ

## 「あそぼう つくろう プレーパーク ～あそびで変わる！子どもとまち～」

講師：関戸博樹（日本冒険遊び場づくり協会 代表、プレイワーカー）

2020年11月3日（火・祝）13:00～16:00 山口県旧県会議事堂 夢交流ホール

参加者（46名） アンケート（20枚）

1. 今日の感想・ご意見などを、自由にお書きください。

◇ “孤立した子育て”についてが非常に実感を持って切実に感じました。“大人になって友達（ママ友）作るのこんなに難しいの！？”と思ったこともあるので、親子同士のつながり作りの場としてのプレーパークの魅力を感じました。

遊び“自分で決めて自分でやる”親として心配で口出ししがちですが、子どもの成長を信じて（期待はせずに）見守れたらいいなと思います。

日本の高校生の“自分の価値がない”の回答率にびっくりしました。本当に自己肯定感の低さ、今の若者の自死率の高さにつながるのではと、もっと社会問題として考えればならないと思いました。自己肯定感を高めるため自分にとってのものさし、自分の好きを見つけられる“遊び”の大切さ、自分の居場所、プレーパークの場の必要性を痛感しました。全体を通して非常に興味深く、充実した内容でした。ありがとうございました。

隣人との会話もでき、リモートではなく、“生”の講演会に参加できてよかったです。（女性37才）

◇ 私自身がプレーパークに助けられて、プレーパークに親として育ててもらいました。子の成長とともに忘れていたことを思い出すことができました。（女性40才代）

◇ 5才になる息子がいます。自由に（ケガなど気にせず）遊んでほしい気持ちと、大きなケガをしないように見守りたい気持ちのはざまにゆれながらの子育てです。プレーパークのような場所で、大人も子どももいて、その中で挑戦できるのってとてもいいなと思います。

◇ 放課後児童クラブのスタッフと聞きにきました。クラブの中にプレーパークの要素を取り入れつつ、これからも子どもたちの遊びの場と時間を保障していきたいと思います。現実には、日々子ども・保護者・制度、あるいは自分の中の常識（！？）との板ばさみの中でもがいていますが、みんなで参加したことで、ひとつの指針を共有できました。ありがとうございました。（女性50才代）

◇ 子どもにとって遊びが重要ということは思っていたのですが、今の子ども達がなぜゲームをするのかのなぞがとけました。田舎の子ほど遊べていないことも実感しています。子どもの遊びに大人がかかわるといことのむずかしさ、大切さを学びました。今日は本当に来て良かったです。ありがとうございました。（女性52才）

◇ とてもワクワクする時間でした。関戸博樹さんのような方がいらっしゃるから、子ども達も救われるのだろうと感じました。日々の子育てで悩むことはありますが、視点を変えると

- 救われることも多いなとも感じました。また！また！ぜひ関戸さんのお話が聞きたいなと思いました。このような機会をつくってくださり、ありがとうございました。(女性 30 才代)
- ◇ 『人は遊ぶことで「自分」をかたちづくり、人生を手作りできるようになる！』  
大人もあそびながら、好きな事に夢中になる時間をいっぱい過ごしたいですね。  
子どもたちに安心できる居場所を作ってあげたいです。  
プレーパークを山口に！がんばりたいです。力をいただきました。(女性)
- ◇ いつも天野さんの講演会を聞かせてもらっています。関戸さんのプレーワーカーとしての学び体験が伝わる講演でした。天野さんの担い手が活躍されて嬉しいです。(女性 52 才)
- ◇ 「自治体の必要に合わせて、ニーズを訴える」やるべき事が、より明確になりました。(男性)
- ◇ 子どものあそびに関して考えが変わりました。  
行政の動かし方が参考になりました。(女性 48 才)
- ◇ どの親子の組み合わせかわからないのがいい遊び場。  
ななめの関係 (信頼関係をすすめる関係)  
今の子育て世代を救うキーワードに出会った気がしました。みんなで育てる、私たちが育てる環境づくりができたならなんと幸せなことでしょう！！(女性 40 才)
- ◇ 後半の、実際に行政をどう動かすかが、とても具体的でよかったです。(女性 45 才)
- ◇ 自身の今後の子育ての参考にしたいと思い参加させていただきました。ぜひ一度プレーパークに行ってみたいと思うとともに、将来的には自身も、こうした分野で地域に貢献したいと思うようになりました。(男性 40 才)
- ◇ 第一部の話はとてもよかったが、子どもと遊びについてもっと深くお話が聴きたかった。(男性)
- ◇ 関戸先生の理論に基づくお話を聞ける機会を設けて頂きありがとうございます。  
山口市に常設のプレーパークが早期に設置される事を祈念いたします。(男性 37 才)
- ◇ プレーパーク実現に向けて、また一步進んでいる感じがしました。  
いろいろな方向からアプローチしていきたいと思うと同時に、今私に何ができるのか、できることからしていこうと思いました。まずは家での子どもたちへ、そして参加者として。
- ◇ 去年のプレーリーダー養成講座から 1 年。  
「遊び」とは何か、という問いに対してまた「？」となってしまった。何度でも立ち帰り、何度でも学びたい。そんな内容の講義だったと思う。  
保育士として、一大人として、子どもの遊ぶ力、学ぶ力をどうのばしていけばいいのか考えていきたいと思う。ありがとうございました。(女性 33 才)
- ◇ 遊びが子どもの成長についていかに大切か、必要か、再確認しました。子どもがやりたいことをやる⇒何かが伸びる。支援員をしているので、今日の話を生かす保育につながればと思いました。プレイワークを学んでみたいです。  
子ども達が自分で決めて自分で行う時間を大切にしたいです。
- ◇ わかりやすく、現場にそった具体的なおはなし、ためになりました。きいてよかったです。  
子どもの遊びについて、改めて考え直させるいい機会になりました。(女性 48 才)

2. 今回の講演会の情報はどちらでお知りになりましたか？

- ・チラシ 1 1 (小学校2、山口保育園、こどもステーション山口、職場、萩子どもセンター、山口子育て)
- ・サンデー山口 1
- ・こどもステーション山口のHP 2
- ・「プレーパークを山口に」のFB 2
- ・知人 3
- ・その他 1 (こどもステーション山口)

3. 今後、このような講演会や学習会の情報がほしい。

- ・はい 1 1
- ・いいえ 2

4. 「プレーパークを山口に」の活動に協力出来る場合、お選びください。

- ・「いちにちプレーパーク」でスタッフとして協力したい 3
- ・今回の署名活動を広げるために協力したい 7
- ・遊び場を提供したい 1
- ・広報活動で協力したい 2
- ・寄附をしたい 1
- ・そのほか 3
  - ・私にできることがあれば協力したい。
  - ・山口市にプレーパーク常設を実現するためにお手伝い出来ることがあれば、何でも言って下さい。
  - ・勤務と子育ての間にできることがあれば。